

伝国の杜だより

VOL.46
秋号



P2 博物館からのお知らせ

特別展 上杉氏と鷹と馬

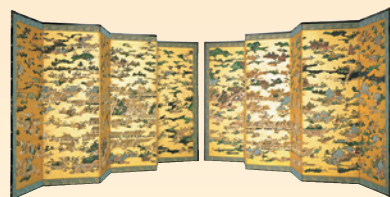
企画展 椿貞雄と草土社の画家たち

P6 置賜文化ホールからのお知らせ

春風亭昇太・柳家三三 落語二人会

山響ユアタウンコンサート2024 米沢公演

P8 2024年度下半期事業カレンダー



国宝 上杉本洛中洛外図屏風 原本展示

令和6年10月12日(土)～11月10日(日)

*特別展「上杉氏と鷹と馬」後期間

企画展示室



(© 橘蓮二)

「春風亭昇太・柳家三三 落語二人会」



特別展

上杉氏と鷹と馬

会期 前期 9月7日(土)～10月6日(日)

後期 10月12日(土)～11月10日(日)

◇展示替:10月7日(月)～11日(金) ◇休館日:9月25日(水)・10月23日(水)

※展示替期間中は常設展のみ

料金 一般 800円(640円) 高大生 500円(400円) 小中生 300円(240円)

※()は20名以上の団体料金 ※常設展示室と一体型。

鷹や馬は権力と強く結びつき、象徴的存在として歴史にその姿を刻んでいます。本展は、戦国時代から江戸時代における上杉氏を中心とした武家権力と鷹と馬との関わりをみていきます。

鷹や馬は、大名と室町幕府や豊臣政権、江戸幕府との関係のほか、大名同士の関係において重要な役割を果たしました。鷹狩は広く武家が愛好し、乗馬は移動のみならず、戦いにおいても武家に必要とされました。そこで、鷹狩や乗馬の技術が重視され、狩猟能力にたけた鷹や、いわゆる名馬が求められました。

このような中で、鷹や馬を題材とした障屏画が盛んに描かれました。武士が絶対的権力を握った社会的風潮の反映ともいえます。また、国宝「上杉本洛中洛外図屏風」にも多様な鷹や馬の姿が描かれています。

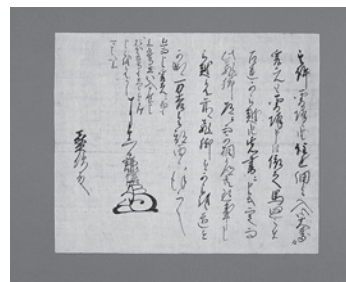
以上のような視点から、鷹や馬を通した上杉氏の歴史の一端にふれていただきたいと思います。

◆関連事業

○ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)

10月5日(土)、12日(土)、11月9日(土)

いずれも14:00～ 要入館料



国宝「上杉家文書」上杉謙信書状(当館蔵)[前期]

◆主な展示資料

○前期

・(天正18年・1590)10月20日大谷吉継覚書
(重要文化財「越後文書宝翰集」・新潟県立歴史博物館)

・毛氈鞍覆(上杉神社)

・松に鷹図屏風(東京国立博物館)

・(元和元年・1615)11月20日上杉景勝書状

(国宝「上杉家文書」・米沢市上杉博物館)

・人見流抜覚集(米沢市上杉博物館)

・九曜紋蜻蛉文馬具(米沢市上杉博物館)

・鷹図屏風(山形県指定文化財・米沢市上杉博物館)

○後期

・(大永4年・1524か)11月23日北条氏綱書状

(国宝「上杉家文書」・米沢市上杉博物館)

・(天正19年・1591か)10月晦日豊臣秀吉朱印状

(「津軽家文書」・国文学研究資料館)

・松鷹図屏風(東京芸術大学)

・伊達政宗所用・鷹磔(仙台市博物館)

・(天文21年・1552)5月25日足利義輝御内書

(国宝「上杉家文書」・米沢市上杉博物館)

・徒鞍流馬書(米沢市上杉博物館)

・米沢本川中島合戦図屏風(米沢市上杉博物館)

※伝国の杜だよりvol.45から変更があります。



「腕鐘を持てる自画像」 椿貞雄 1917年
油彩・キャンバス 東京国立近代美術館蔵

企画展

椿貞雄と草土社の画家たち

—草のささやき 土のかほり—

会期:11月23日(土・祝)～令和7年1月13日(月・祝)

◇休館日:11月27日(水)、12月以降毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始(12月27日～1月1日)

料金:一般590円(470円) 高大生390円(310円) 小中生240円(190円)

※()は20名以上の団体料金

米沢出身の椿貞雄は、岸田劉生との出会いにより画家としての決意を固め、その後は共に写実の道を歩みます。1915年(大正4)、椿は岸田劉生、清宮彬、中川一政、横堀角次郎らと共に美術団体、「草土社」を結成し、9回にわたり展覧会を開催しました。精神的には文芸雑誌『白樺(しらかば)』(1910年創刊)の人道主義と密接な関係にあり、草土社風といわれた暗い色調と克明な細密描写は、同時代の青年画家に大きな影響を与えました。本展では、「草土社」の主要メンバーとして情熱をたぎらせていた椿貞雄の活躍や、椿と岸田劉生をめぐる「草土社」の画家との関わりや彼らの活動が大正期の美術にどのような影響を及ぼしたのかを紹介します。

◆関連事業

○ギャラリートーク

11月23日(土・祝)14:00～

担当学芸員による展示解説

※要企画展入館料

○講演会「見えないものを描こうとした画家 椿貞雄の画業と遺産」

12月7日(土)14:00～

講師:若松英輔氏(批評家・随筆家・椿作品蒐集家)

会場:伝国の杜2階大会議室

定員120名 聴講無料

申込受付開始 10月9日(水)9時～

○アートトーク&コンサート「椿貞雄と草土社の画家たち」展に寄せて

「草のささやき 土のかほり ヴァイオリンとギターの夕暮れ

東彩子氏(ヴァイオリン) × 莊村清志氏(クラシックギター)」

日時:11月30日(土)開場15:30 開演16:00 終演予定18:00

会場:置賜文化ホール能舞台

全席自由 2,500円※コンサートチケット・半券提示で企画展無料

※FC会員10%引(1人2枚)

チケット発売中

販売場所 伝国の杜窓口

そのほか、教育普及事業はP4をご覧ください。

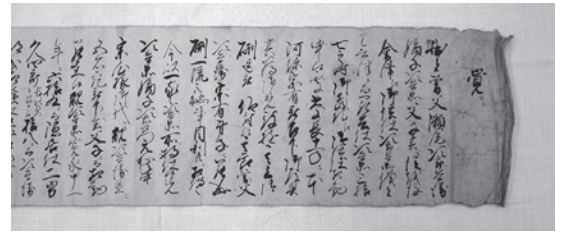
コレクション展

新収蔵品展 米沢・上杉の歴史と文化(仮)

会期 令和7年2月8日(土)～3月23日(日)
◇休館日:毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)

料金 一般500円(400円) 高大生300円(240円) 小中生200円(160円)
※()は20名以上の団体料金 ※常設展示室と一体型。

本展では、平成29年以降、博物館で新たに収集した歴史資料を中心に取り上げます。展示テーマや内容によって展示する機会に恵まれない資料が少なくないなかで、未公開の歴史資料を主として構成し、これまで紹介されなかった米沢・上杉家の歴史を紹介します。上杉家ゆかりの文化財をはじめ、米沢藩の刀剣とその管理がうかがえる古文書、幕末の志士雲井龍雄が家族に送った手紙、米沢の絵はがきなど、多彩な資料を展示します。



瀬尾家由緒書控(部分)

◆主な展示資料 *すべて当館蔵

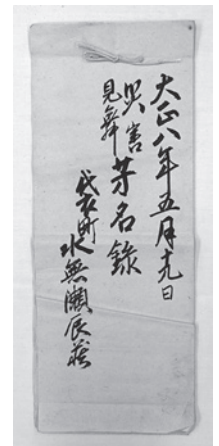
- ・樺島石梁宛 上杉鷹山書状
- ・紺紙金字観音経(妙法蓮華経)
- ・刀 銘 米沢住綱晴作之
- ・刀剣手入道具(栗林政克所用)
- ・中島総右衛門・中島素堂宛 雲井龍雄書状
- ・非常袋(米沢大火)
- ・米沢市内大雪に関する絵葉書

◆関連事業

- ギャラリートーク(担当学芸員による展示解説)
2月8日(土)、3月15日(土)
いずれも14:00～ 要入館料



刀 銘 羽州米沢住 片倉正晴作之



「災害見舞芳名録」

常設展示室 上杉文華館 年間テーマ:長尾上杉氏の北陸侵攻

令和6年度の上杉文華館では、長尾上杉氏と北陸地域(主に越中・能登)の歴史的関係について、国宝「上杉家文書」を中心に通時的に紹介しています。

越後と隣接する北陸地域への侵攻は、上杉氏の領国形成の上で重要であり、北陸の諸勢力をいかに統合していくかがカギとなりました。上杉謙信の北陸侵攻は、武田信玄や北条氏康といった関東・甲信勢力のほか、一向一揆や織田信長などの動向と関連しており、謙信を取り巻く当時の政治状況に配慮したなかで行われました。

下半期の展示では、上杉謙信・景勝が絶えず変化する北陸情勢にどのように向き合い、対応していったのか、その歴史を紹介します。

<スケジュール> ※内容は変更になる場合があります。

- | | |
|-------------------|---------------------------------|
| ⑥「越相同盟の成立と北陸情勢」 | 8/29(木)～ 9/24(火) CT:9/1(日) |
| ⑦「一向一揆との攻防」 | 9/26(木)～10/22(火) CT:9/29(日) |
| ⑧「謙信の越中西進」 | 10/24(木)～11/26(火) CT:10/27(日) |
| ⑨「本願寺との和睦、信長との断交」 | 11/28(木)～12/22(日) CT:12/1(日) |
| ⑩「謙信、能登平定」 | 12/24(火)～2025/1/26(日) CT:1/5(日) |
| ⑪「上杉景勝の台頭」 | 1/28(火)～2/24(月振) CT:2/2(日) |
| ⑫「本能寺の変と北陸情勢」 | 2/26(水)～ 3/30(日) CT:3/2(日) |

コレクショントーク(CT)は各回14時～、要入館料

【特別展示】山形県指定文化財 徒然草図屏風 9/7(土)～10/6(日)

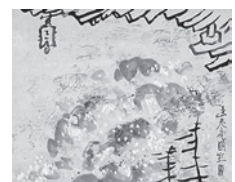
モールの展示作品 Uesugi Museum Art Collection

総合案内前では、当館コレクションから郷土作家を中心に作品を入れ替えながら展示しています。

■9月26日(木)～11月26日(火)
後藤克芳「UNTITLED
(馬蹄ととうがらし)」
1991年(平成3)
木・ブリキ・アクリル

■11月28日(木)～1月19日(日)
椿貞雄「花鳥図(菊雀図)」
1947年(昭和22)
紙本墨画著色

■1月19日(日)～3月23日(日)
本間国生
「水墨日本風物抄 第五図 吉野の春」
昭和30年代 紙本墨画淡彩



「水墨日本風物抄 第五図 吉野の春」

*展示作品は都合により変更になる場合があります。

教育普及事業

Hands & Heart ~手とこころでかんじよう~

PS プレイショップ × 造形

●申し込み不要（入室定員20名）※団体利用は要事前予約。
休館日は年間カレンダー、HPでご確認下さい。

9月27日(金)~10月22日(火)
日本画に挑戦!
日本画の材料で、「上杉本洛中洛外図屏風」の場面を描こう

手わざの
工房
糸がら布へ
編む

10月25日(金)~11月26日(火)
ハニカムシートでつくろう
はちの巣状の紙で立体的な作品をつくろう

11月29日(金)~12月18日(水)
紙の獅子舞づくり
紙でたのしい獅子舞をつくろう

織る
織りのしくみ

12月20日(金)~1月22日(水)
紙でつくるいろいろものいれ
紙でぶくろや、箱をつくってみよう

1月24日(金)~2月26日(水)
紙でつくるおひなさま
紙でひなにんぎょうをつくろう

鳴らす
能楽器

2月28日(金)~3月26日(水)
スパッタリング
絵の具のしぶきで形をうかがひあがせよう

今年で20周年!

チルドレン
キュレーターズ

R6年度テーマ
二次資料の価値を
発見しよう!
—作家たちの素顔に迫る—

こども学芸員の活動紹介

現在小学4年生~大学生までの12名が博物館のバックヤードを中心に活躍しています。
20周年にあたる今年は、企画展「椿貞雄と草土社の画家たち」に展示する二次資料の整理をおこなっています。

WS 募集制ワークショップ

●要事前申し込み 参加費：各500円
場所：ナイトツアーは展示室
そのほかは体験学習室集合

芸術の杜連携ワークショップ
日本画をたのしもう~岩絵具のふしぎ~
講師：福王寺一彦氏(日本画家)
岩絵具の具を使った下地づくりなどを通して、日本画の技法と表現を知り、作品鑑賞への理解を深めます。
10月12日(土)13:30~16:00
対象：小学生以上15名
申込：9月11日(水)9:00~

造形

だれもしらない博物館
博物館バックヤードツアー
普段は入ることのできない博物館の裏側、のぞいてみませんか?
11月3日(日祝)13:30~15:30
対象：どなたでも15名
申込：10月2日(水)9:00~

発見

ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ
国宝「上杉本洛中洛外図屏風」をたのしむ
夜の博物館で国宝の魅力に迫ります。
10月18日(金) 19:00~20:30
対象：どなたでも20名(中学生以下は保護者同伴)
申込：9月18日(水)9:00~

鑑賞

**立体切り紙で
椿の花をつくろう**
切る、折る、貼り付ける...紙の特性を生かして美しい花を作ります。
12月14日(土)13:30~16:00
対象：小学生以上20名
申込：11月13日(水)9:00~

造形

ナイトツアー ようこそ夜の博物館へ
椿貞雄となかまたち
夜の展示室で企画展をじっくり鑑賞し、椿と周辺作家の活動などを感じ取ります。
12月6日(金) 19:00~20:30
対象：どなたでも20名(中学生以下は保護者同伴)
申込：11月6日(水)9:00~

鑑賞

**おとな
ハニカムペーパークラフト**
インテリアにもなるちよつとおしゃれな作品づくり。
令和7年2月16日(日)13:30~16:00
対象：高校生以上20名
申込：1月15日(水)9:00~

造形



MWS 自由参加制ワークショップ

むかしむかしをきこう

10月5日(土)10:30~13:30~
体験学習室 ※申込不要・参加無料

語り：米沢とんと昔の会

あたたかい昔語りを聞いてみませんか?
楽しい方言解説も!

出前授業やミュージアムスクールについてはこちらから→



お問合せ 0238-26-8001(教育普及担当)



収蔵品 学芸ノートから

「彩子とミモザ」 椿貞雄

1954年(昭和29) 油彩・板 33.5×45.3cm



米沢出身の画家 椿貞雄(1896-1957)は、岸田劉生と「日本人としての油絵」を描くという確固たる意思を共有し、互いにゆるぎない信頼関係を築きます。1929年(昭和4)、劉生が38歳で急逝した後は、その影響から離脱しながらも精神的な基盤には常に劉生を掲げ、自らの写実の道を椿らしいやり方で追及し続けました。

本作は、初孫彩子の5歳像です。劉生の「麗子」の連作に影響を受けた椿は、姪菊子の連作を開始します。劉生は、娘麗子一人を10年あまり描き続けましたが、早世したため、孫という存在を描くことはできませんでした。椿は61年の生涯を通じて、姪、娘、孫とつらなる「家族」を描くことができたのです。孫への深い愛情は明るい色彩の変化となって椿の作品にさらなる奥行とオリジナリティを生み出しました。

作品に描かれるミモザはアカシア科の植物で、春先に房状の黄色い花をつけます。椿花とミモザの華やかな色彩と、彩子のあふれんばかりの澆刺とした生命感に椿の優しいまなざしを感じることができます。義兄であり白樺派の作家 長与善郎は、椿を「愛情の画家」と形容し、同時代における作家としての存在価値を評価しています。

11月23日から始まる企画展「椿貞雄と草土社の画家たち」で展示します。

ミュージアムショップから

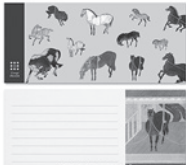
特別展をもっと楽しむ
鷹・馬グッズをチェック！

◇「上杉本洛中洛外図屏風」
デザインはがき「鷹狩の一行」
国宝「上杉本洛中洛外図屏風」左隻第二扇より、鷹を従え馬上悠然と行く御一行。気分上々なお便りにぜひどうぞ。



はがき 110円 (税込)

◇一筆箋 厩図屏風
豊臣家から拝領したと伝わる「厩図屏風」。12頭の馬と猿たちの個性あふれる表情やポーズを、1枚ずつお楽しみください。



一筆箋 440円 (税込)
本文36枚 (絵柄12種×3)

「上杉氏と鷹と馬」公式図録も販売中です。
最新情報はHPをチェック！

伝国の杜ファンクラブ

【事業報告】

ファンクラブ担当問合せ：0238-26-8000

6月1日(土)特別展「上杉茂憲」と連携し、上杉家ゆかりの石碑を中心とした史跡を巡りながら、特別展の内容を深める「再発見!幕末明治の史跡探訪」を開催しました。

身近にあっても知られていない石碑について改めて建立の経緯や意味を知っていた、伯爵邸の内部も解説を聞いた上で見学できる良い機会となりました。



10月以降入会は会費半額!!

お得に楽しむ
気軽に
情報を

下半期会費 一般1,250円・学生500円・ジュニア250円
入会日～令和7年3月31日まで有効

会員特典 会員証をご提示いただくと様々な特典があります。
・常設展・企画展が会員期間中何度でも無料(同伴者1名は団体割引)
・ホール自主事業の先行予約・料金割引(1事業4枚まで)

ほかにも特典
いろいろ!

伝国の杜サポーター

サポーター担当問合せ：0238-26-8000

活動紹介

伝国の杜を様々な面で支えて
いただいています! /



【広報サポーター】

伝国の杜の自主事業のポスター・チラシや博物館の刊行物を近隣施設をはじめとして多くの施設・機関に発送します。広報サポーターはこの作業を一手に引き受け、伝国の杜の情報発信の役割を担っています。



特別展「上杉氏と鷹と馬」
広報作業

【図書サポーター】

博物館には、一年を通して大量の書籍が交流館等から届きます。この大量の書籍を十進分類に基づいて整理・排架し、利用しやすい環境を作っていただいています。このほか、交流館からのポスター・チラシを整理し、情報ライブラリーに掲示する作業も行っています。

【分野を超えた活動も!】

このほかに、サポーター活動では、分野を超えた活動もあります。4月24日(水)には、学芸担当職員とサポーターが協力して米沢市上杉博物館に附属する庭園「置賜の庭」の開園準備作業を行いました。



「置賜の庭」開園準備の様子

伝国の杜サポーター
募集中!

活動の詳細は、伝国の杜HPにて
ご確認ください。 /

伝国の杜では、伝国の杜サポーターを募集中です。広報物の発送やホールのレセプションなど、6つの分野で活動しています。



▲サポーターについてはこちらから



市立米沢図書館・よねざわ市民ギャラリーからのお知らせ

米沢市中央1丁目10-6

市立米沢図書館 図書館問合せ:0238-26-3010

◆『2024読書週間図書館フェア』
10/25(金)～11/4(月・振)

本と雑誌のリサイクル市や「ぬいぐるみのおとまりかい」など、各種イベントを行います。



ぬいぐるみのおとまりかい
ぬいぐるみさんたちが大集合!

◆『米沢市小中学校読書感想画展』
12/4(水)～12/8(日)
よねざわ市民ギャラリーにて開催予定

◆先人顕彰コーナー

10/25(金)～11/27(水)『新聞報道で振り返る
山形新幹線のあゆみ』
11/29(金)～1/22(水)『写真で見る米沢part.7
～米沢のこどもたち～』
1/24(金)～3/26(水)『貸出・掲載された
市立米沢図書館の古典籍・古文書』

市民ギャラリー自主事業 ギャラリー問合せ:0238-22-6400

◆3月8日(土)～3月18日(火)
「ARTS MEET OKITAMA 2025 & AMO2024大賞 八頭こほり展」

◆オープンギャラリー
10月25日(金)～令和7年1月22日(水)
「椿貞雄と米沢の画家たち② 没後70年 志賀三郎」
令和7年1月24日(金)～4月23日(水)
「椿貞雄と米沢の画家たち③ 生誕120年 高瀬捷三」

【椿貞雄と米沢の画家たち】

志賀三郎、高瀬捷三は椿貞雄と同じ時代の画家です。椿は岸田劉生と顧問に迎えた「七涉会(しちちょうかい)」を大正15年(1926)に結成し、志賀・高瀬も参加しています。米沢市上杉博物館企画展「椿貞雄と草土社の画家たち」とあわせて、ご覧ください。



志賀三郎「五月の兜山」

2024
10/14(月・祝)

吹奏楽の日コンサート2024

入場無料(全席自由) 内奏/開場9:30 開演10:00 終演15:30(予定)
主催: 米沢上杉文化振興財団・米沢市教育委員会・置賜地区吹奏楽連盟



うちそう
ホール内奏

迫力ある大編成の演奏も、良質の音響空間で演奏する内奏。一音からお客様に届くよう心を込めて演奏します。



うちそう
ホール内奏

各パートひとりずつ担当するアンサンブル演奏では、奏者同士の息遣いもぴったり! 楽器それぞれの魅力を感じながら。

2024エントリー団体一覧

【小学生】
米沢ジュニア吹奏楽クラブ

【中学生】
長井南中、米沢四中、米沢六中、米沢七中、米沢一中&五中合同、米沢二中&三中合同、米沢市内中学2年生合同バンド

【高校生】
米沢興譲館高、米沢東高、米沢工業&米沢商業合同 来年から「米沢鶴城高校」になります!! BAND、置賜地区高校合同A(米沢興譲館高&米沢工業高&米沢商業高&置賜農業高)、置賜地区高校合同B(米沢東高&高島高&米沢中央高)、置賜地区高校合同C(長井高&南陽高&九里学園高)

【大学・一般】
山形大学工学部・米沢女子短期大学・米沢栄養大学吹奏楽団、米沢興譲館吹奏楽研究クラブOB会、KTYウィンドアンサンブル、おきたまシンフォニック・サウンド倶楽部、リブレーヴ・サクソフォン・クワルテット、アンサンブル・プルプル、合奏集団極楽浄土、プルスイーヴル・クラリネット・カルテット



にわそう
ピロティ庭奏

大屋根の下の特設ステージでは、秋空に向かってサウンドを響かせる開放感が魅力。ドリンクなど片手に聴くもよし。お客様とステージの距離が近いから、一体感が! お子様連れのお客様も曲に合わせて体を揺らしたり手をたたいたり。

※館内への飲食品の持込はご遠慮ください

ホール公式 X でコンサートの“おとも”配信中

- ♪コンサートを楽しむ鑑賞マナー
- ♪団体別の演奏予定時刻と曲目
- ♪演奏会場周辺の飲食エリア情報
- ♪スタッフによる! 見どころ聴きどころ!!
- ♪エントリー団体からの意気込み etc...

2024
11/6(水)

しゅんぶうてい しょうた やなぎや さんざ
春風亭昇太・柳家三三 落語二人会

開場17:45 開演18:30 前売券発売中(下記)
主催: 米沢上杉文化振興財団・米沢市教育委員会・オールドキッズ



春風亭昇太

春風亭昇太師匠は新作落語の創作活動に加え、独自の解釈で古典落語に取組み、文化庁芸術祭大賞を受賞するなど、新作、古典問わず高い評価を得ている実力派です。さらに、演劇への出演、ミュージシャンとのライブなど、マルチな才能を発揮しています。

伝国寄席に初登場の柳家三三師匠は、人間国宝柳家小三治の弟子で若手の頃から落語界の各賞を総ナメ。その本格的な古典落語は将来の名人候補とも言われています。映画や漫画で落語の監修をするなど各界でも活躍中。

共に現在の落語会をけん引するお二人の至芸をお楽しみください。

柳家三三師匠からメッセージをいただきました。

山形県におじゃまする機会は少なくありませんが、米沢には20年以上うかがっていないような…前の記憶がないくらい。ほぼ「初めまして!」です。

新鮮な気持ちで、歴史ある城下町の落語会を楽しむつもりなので、お客さまも楽しんでくださいねー!

入場料

全席指定 4,000円
※当日券500円増
※未就学児は入場不可

プレイガイド

*置賜文化ホール(9:00~17:00/休館日あり)
*チケットぴあ(Pコード:527-959)



柳家三三

©橋蓮二



2025
1/13(月・祝)

山響 YourTownConcert2024 米沢公演

開場 14:30 開演 15:00 前売券発売中(下記)
主催: 米沢上杉文化振興財団・米沢市教育委員会・山形交響楽協会

おたかぼっぱ、紅花など山形の四季を織りなす風景と人々の豊かな心をたたえた交響讃歌「やまがた」を、おきたま有志合唱団との共演で故郷への想いを綴ります。

ドヴォルザーク作曲《新世界より》も故郷へのメッセージが込められているとされ、時代を超えて愛され続ける名曲。当ホールにおける最大級の編成で、新年を寿ぎ高らかに謳い上げます。

佐藤敏直: 交響讃歌「やまがた」(抜粋)
ドヴォルザーク: 交響曲 第9番 ホ短調「新世界より」作品95
※やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる場合があります。

入場料 全席指定 一般 4,000円 学生(24歳まで)1,500円
※未就学児は入場不可 ※当日各500円増

プレイガイド ・置賜文化ホール(受付9時~17時/年末年始除く)
・山響WEBチケット ・山響チケットサービス
・チケットぴあ(Pコード: 256-068)

指揮: 阪哲朗

山形交響楽団



©Kazuhiko Suzuki

2025
2/16(日)

クリニック受講生 × 地域音楽家 楽器クリニックコンサート vol.3

開演 14:00 全席自由 入場無料



プロの音楽家から直接指導を受ける「楽器クリニック(講習)」には、一人きりのパートに所属し相談相手がない中で上達を目指す中学生や、子どもの引率が契機で自らも楽器を吹きはじめたお父様、長い演奏経験のあるアマチュア奏者など、今期9名が参加しています。

指導は、チューバ奏者の齋藤耕基さん、フルート奏者の鈴木芽玖さん、ファゴット奏者の小嶋爽さん、トランペット奏者の伊藤萌さんら4名が

の県内在住音楽家が担当。レッスンでは、悩みを聞いて課題を絞ったり、講師おすすめの練習法や普段の生活での音楽との向き合い方を聞いたりしています。

2月16日のコンサートでは、レッスンの成果を、独奏やピアノの演奏に合わせた重奏、指導者との共演などのほか、曲の知識を探究してトークにも反映し、お客様にも楽しんで頂けるコンサートを目指します。半年間の成果、講習修了を兼ねて行うコンサートです。ぜひご来場ください。



2025
3/20(木・祝)

こども狂言クラブ × 野村万蔵家 春休みこども狂言発表会

開演 14:00 全席自由 入場無料



ぼくたちの先生は和泉流のプロの狂言師

月に一度、野村拳之介先生(野村万蔵家所属)の指導で、発声や姿勢、歩き方を時間をかけてじっくり習っています。扇を扱う舞の稽古中、子どもたちの眼差がキラキラと憧れに変わる瞬間があります。すぐ目の前で、本物の狂言師の動きを見た瞬間、緊張しながらも先生の一手一投足を見入っています。

発表会で披露するための小舞や狂言を稽古中

今年の上半期は、国際交流や、祝賀行事のアクションの出演、プロの能狂言の鑑賞と、忙しくも楽しみながら取り組みました。この秋からは、細部の稽古を積み重ねて発表会での披露を目指す子どもたち。周知の大人も、着物と袴の着付けのスキルアップを目指します。



狂言くさびらに出演する小さなきこの役を募集

初めての伝統文化体験にぴったり! 狂言のおけいこを始めませんか?

対象: 年中児から中学2年生まで

申込期限: 12/26(木)

活動日: 1/26(日)、2/24(月振)、3/15(土)

参加費: 無料

※未就学児は家族の付添をお願いします。

伝国の杜 CALENDAR

2024.9月—2025.3月

*9月現在の予定ですので、変更になることがあります。

展覧会		教育普及事業		ホール	
9	企画展示室 上杉文華館	常設展示室 上杉文華館	募集制 WS つくろう みつけよう どちらも 要事前申込 / 有料	自由参加制 WS	子ども狂言クラブは1年を通して活動 しています。見学や体験を希望される 方は事前にご連絡ください。
					活動日 9/8(日) 「能楽の祭典」 出演
					9/7(土) 伝国の杜能楽狂言公演
10	特別展 前期 9/7(土) 9/7(土) 14:00 ~ 要入館料 ▼ 10/6(日) 9/14(土)「徳川将軍と東北の馬・鷹」 講師:兼平賢治氏 (東北学院大学文学部教授) 伝国の杜 2階大会議室 定員:先着80名(事前申込制) 休館日 9/25	年間テーマ 「長尾上杉氏の北陸侵攻」 一向一揆との攻防 9/26(木) ~ 10/22(火) C 9/29(日) 【特別展示】 9/7(土)~10/6(日) 山形県指定文化財 徒然草図屏風展示 ※洛中洛外図屏風原本 企画展示室で展示	募集制 WS つくろう みつけよう どちらも 要事前申込 / 有料	自由参加制 WS	活動日 9/16(月祝) 稽古
後期 10/12(土) 10/5(土) 14:00 ~ 要入館料 ▼ 11/10(日) 10/12(土) 14:00 ~ 要入館料 休館日 10/23	謙信の越中西進 10/24(木) ~ 11/26(火) C 10/27(日)	10/5(土) ①10:30 ~ ②13:30 ~ 自由参加制WS 「むかしむかしをきこう」	9/8(日) 能楽の祭典	10/12(土) 稽古	
11	11/3(日・祝)東北文化の日 どなたでも無料入館日 C 11/9(土) 14:00 ~ 予定 要入館料	本能寺との和睦、信長との断交 11/28(木) ~ 12/22(日) C 12/1(日)	10/12(土) 13:30 ~ 16:00 日本画をたのしもう ~岩絵具のふしぎ~	10/14(月祝) 吹奏楽の日コンサート	10/27(日) 稽古
12	企画展 榎貞雄と草土社の画家たち 一草のささやき 土のかほりー 11/23(土祝) 11/23(土祝) 14:00 ~ 要入館料 ▼ 1/13(月祝) 11/30(土) 開場 15:30 開演 16:00 ~ 終演予定 18:00 アートトーク&コンサート「榎貞雄と草 土社の画家たち」展に寄せて 「草のささやき 土のかほり ヴァイオリンとギターの夕暮れ 東彩子氏(ヴァイオリン)× 荘村清志氏(クラシックギター)」 休館日 11/27 12月以降 毎週月曜日 年末年始 (1/13 除く)	謙信、能登平定 12/24(火) ~ 1/26(日) C 1/5(日)	10/18(金) 19:00 ~ 20:30 国宝「上杉本洛中洛外図屏風」 をたのしむ	11/6(水) 春風亭昇太・柳家三三 落語二人会	11/10(日) 稽古
1	12/7(土)「見えないものを描こうと した画家 榎貞雄の画業と遺産」 講師:若松英輔氏 (批評家・随筆家・榎作品蒐集家) 伝国の杜 2階大会議室 定員:先着120名	上杉景勝の台頭 1/28(火) ~ 2/24(月振) C 2/2(日)	11/3(日祝) 13:30 ~ 15:30 だれもしらない博物館 博物館バックヤードツアー	11/30(土) 「置賜子ども 芸術祭in長井」 出演	11/30(土) 「置賜子ども 芸術祭in長井」 出演
2	コレクション展 新収蔵品展 米沢・上杉の歴史と文化(仮) 2/8(土) 2/8(土) 14:00 ~ 要入館料 ▼ 3/23(日) 3/15(土) 14:00 ~ 要入館料 休館日 月曜日	本能寺の変と北陸情勢 2/26(水) ~ 3/30(日) C 3/2(日)	12/6(金) 19:00 ~ 20:30 ナイトツアー 榎貞雄となかまたち	1/13(月祝) 山響ユアタウンコンサート2024 米沢公演	12/15(日) 稽古
3			12/14(土) 13:30 ~ 16:00 立体切り紙で榎の花をつくろう	1/26(日) 稽古	2/8(土) 雪灯籠出演
			2/16(日) 13:30 ~ 16:00 おとなハニカムパークラフト	2/16(日) 楽器クリニックコンサート Vol.3	2/24(月振) 稽古
					3/15(土) 稽古
					3/20(木祝) 発表会

◆利用案内◆

〒992-0052 山形県米沢市丸の内1-2-1
0238-26-8000(代表)
0238-26-8001(米沢市上杉博物館)
0238-26-2666(置賜文化ホール)
0238-26-2660(FAX)



▲ホームページ ▲博物館X ▲ホールX



博物館開館時間:9:00-17:00(入館は16:30まで)

博物館休館日 : 4月-11月 第4水曜日(休日の場合はその直後の平日)

12月-3月 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日)

年末年始(今年度は12/27~1/1) ※1/2~ 開館予定。

ホール休館日 : 毎週月曜日(休日の場合はその直後の平日) / 年末年始

※休館日等は管理の都合上変更する場合がありますので、詳細はお問合せ下さい。

博物館入館料 : 常設展 一般410円(330円) 高大生210円(150円) 小中生110円(60円)

()は20名以上の団体料金

※特別展・企画展は別途

※特別展開催期間は常設展特別展一体型の料金になります。